

一丸ファルコス

化粧品原料の新工場を増設

PPT生産能力も増強

一丸ファルコスは、本社(岐阜県本巣市)北側にある化粧品原料の生産拠点・真正工場に「N4棟」を新設し、4月15日より本格稼働を開始した。

投資額は建屋・機械装置関係を含めて約20億円。工場増設に合わせ、ヘアケア向け原料として展開する「プロティキュート」や「カシミヤコート」といった加水分解ケラチンの製造ラインを系貫工場より移設し、生産能力を30%増強して受注増加に対応できる体制を整えたという。

同社は、2014年から本社北隣に化粧品原料の製造工場としてN1



同社が開発した「プロティキュート」は、羊毛

ケラチンの製造ラインは、全ての製造工程を見学できる見学者専用通路を設けている。

加水分解ケラチン(PPT)は、毛髪の表面を保護して髪にハリやコシを与える作用が期待できる成分としてヘアケア製品に採用されている。

由來の高分子ケラチンPPTで、髪の強さ(コシ)を担う結晶性ケラチン由来のアルファシリズ(2種)と、髪の柔軟性をしなやかさを担う非結晶性ケラチン由来のガンマシリズ(3種)を展開しており、プロユース製品に採用されている。

「カシミヤコート」は、最高級繊維として知られるカシミヤ由来の分子をケラチンPPTで、一般消費者向けのヘアケア製品に配合しやすいう加水分解ケラチンとして昨年9月に販売を開始した。羊毛と比べてキューティクル層を中心に分布する硬質タンパク質の比率が少なく、柔らかな質感が特徴で、毛髪本来の硬すぎず、ハリのある感触を付与する。中分子なので汎用性が高く、髪ダメージケアするアウトバストリートメントなどデイリーユース製品への配合を推奨している。

第46回総会を開催
「新時代も業界発展への貢献」
近畿化粧品原料協会 誓う

近畿化粧品原料協会(略称「粧原会」)は4月22日、大阪市内で第46回総会を開催し、2018年度の事業・会計報告を行ったのち、2019年度の事業計画案などの承認を得た。粧原会会員数は4月1日現在で57社・65名で、直近では7月に学術講演会の開催を予定している。

出展小間数となった。会場には海外からの来場者も多いと予想している。新しい

平成最後の花見を満喫するべく、毎年約200万人もの人々が訪れるという日本一の桜祭り「弘前さくらまつり」に、先月初めて足を運んだ。

選定されているだけあり、今までの人生35年間で筆者が見てきた桜の名所の中でも群を抜く圧倒的な美しさだった。

約2600本の桜の木々が並ぶ園内には至る場所に花見スポットがあり、その中でも「花筏(はないかだ)」「ハート型の桜」「現存する日本最古のソメイヨシノ」「日本最大幹周のソメイヨシノ」の各風景が今も目に焼き付いている。

日本一の桜祭り

花筏は、公園外濠の水面が無数の花びらで埋め尽くされ、一面がソメイヨシノは、寿命

日本最大幹周のソメイヨシノは、5・37メートルもある幹周にも驚いたが、植栽時期が1901年で樹齢が110年以上ということにも驚いた。

「弘前方式」と呼ばれる独特の方法により、園内では迫力のある花付きの桜が楽しめる。数々の日本一の桜を支え続ける桜守の仕事ぶりに、心から感謝と敬意を表したい。(之)

私のH & B日記

花筏は、公園外濠の水面が無数の花びらで埋め尽くされ、一面がソメイヨシノは、寿命

日本最大幹周のソメイヨシノは、5・37メートルもある幹周にも驚いたが、植栽時期が1901年で樹齢が110年以上ということにも驚いた。

「弘前方式」と呼ばれる独特の方法により、園内では迫力のある花付きの桜が楽しめる。数々の日本一の桜を支え続ける桜守の仕事ぶりに、心から感謝と敬意を表したい。(之)



吉岡 会長

恒例の講演会では、和光大学経済経営学部教授の岩間剛一氏が「電気自動車をはじめとした次世代自動車の最新動向と脱石油」をテーマに講演を行った。

吉岡正人会長は挨拶の中で、化粧品原料協会と粧原会が連合し日本化粧品産業技術展(CITE Japan 2019)に触れ、「化粧品業界の好調が続いていることもあり、会場の広さが足りないほどの出展社・親会が開かれ、大阪府健康医療部の菱谷博次業務課長と化粧品原料協会の木村貞勝会長が来賓として駆けつけた。

(禁無断転載) ©R
本紙の全部または一部を無断で複写複製(コピー)することは、堅く禁じられています。
本紙からの複写を希望される場合は、出版者著作権管理機構(JCOPY) (03-3513-6969)まで必ずご連絡下さい。